

オーガニック

全ての学校給食を自然の味にしようと、
南フランスの小さな村が立ち上がった。

Vive le bio!!

未来の食卓

監督：ジャン＝ポール・ジョー
プロデューサー：ベアトリス・カムラ・ジョー
出演：エドゥアル・ショーレ、ペリコ・ルッガス
制作：J+B SEQUENCES
音楽：ガブリエル・ヤレド (「ベティ・ブルー」, 「イングリッシュ・ペイシエント」)
2008年 / フランス / 35mm / カラー / ドルビー / 112分
配給・宣伝：アップリンク

あなたの「おいしい」、
危なくありませんか？



食卓から始まった小さな奇跡が 人々の幸せを紡いでいく

南フランス・バルジャック村の1年間を描き

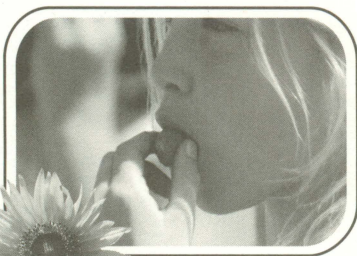
オーガニックブームを巻き起こしたドキュメンタリー!!

Bon Appetit!



美しい自然に囲まれた南フランス、バルジャック村。ショーレ村長は子供たちの未来を守るため「学校給食と高齢者の宅配給食をオーガニックにする」という前例のない試みに挑戦しました。大人たちは「オーガニックは値段が高いのに、村の財政でまかなえるのか」と戸惑っていましたが、オーガニック給食や学校菜園での野菜作りを通して自然の味を覚えた子供たちに巻き込まれ、小さな村は少しずつ変化していきます。

(でも、すべての子供が野菜好きになるには、時間がかかります。
フライドポテトが大好きな低学年のフィリップは、まだ抵抗しています!!)



世界遺産「ボン・デュ・ガール」



子供たちの未来を考える

“おいしい”オーガニック・ライフのススメ

映画の冒頭、ユネスコ会議での「あなたの周りに、がんや糖尿病にかかった人はいますか?」という健康科学研究者の問いかけに、出席者のほとんどが挙手しました。ヨーロッパでは、癌や糖尿病などの生活習慣病の70%は食習慣を含む、環境に原因があるとされています。あなたはこの数字をどのようにとらえますか? 地球の温暖化、環境破壊にも農業のあり方と食生活が密接に関係しています。この映画は、有機栽培農家と一般農家との対話や、家族を癌で失った主婦の体験を通して、私たちでもできる新しい生活を見せてくれます。



未来の食卓

「美こそ世界を救う」に込められた

ジャン＝ポール・ジョー監督の想い

「これからの世界を変えていくには、子供たちと母親、そして未来の母親である女性の存在が大きいと思います。この作品を作るにあたって私は最後に希望を必ず残したかったのです。今すぐに行動すれば希望は失われないう希望です。ドストエフスキーはこういいました「美こそ世界を救う」と。この作品は自然の美しさへのオマージュです。そして自然の美しさを守る事こそが子供たちの未来を守る事だと私は信じているのです」

web DICE 未来の食卓
関連記事掲載予定!
http://webdice.jp/



特別協力: WWF ジャパン
©1986 Panda symbol WWF
® WWF Registered Trademark

8月8日(土)より全国順次公開
www.uplink.co.jp/shokutaku/

★初日初回ご来場のお客様にオーガニック野菜をプレゼント!
※先着順、数量限定 ※シネスイッチ銀座のみ 提供: Oisix

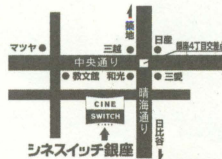
特別鑑賞券 ¥1,500 (税込)

劇場窓口、各種プレイガイドにて発売中

ペア券 ¥2,800 (税込)

ペア券はシネスイッチ銀座のみ販売

★劇場窓口でお買い求めのお客様に限り、先着で本作に登場するオーガニックワイン「ヴァンドゥーブル」のラベルと、特製ポストカードをプレゼント! (提供: ヴォルテックス)



シネスイッチ銀座

原宿4丁目交差点 松光ウツ通り
03-3581-0707 www.uplink.co.jp



渋谷アップリンク

東池袋本店 右側道200m先 右手
03-6271-6821 www.uplink.co.jp

11:25 | 14:00 | 16:35 | 19:10

10:00 | 12:15 | 14:30 | 18:30
8/22以降のスケジュールは劇場にお問い合わせ下さい。